

事務事業評価の評価結果について（平成27年度の事業に対する評価）

久居総合支所

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成27年度）					事業の評価		所管課長等による評価			
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成28年度以降の事業の方向性	所見	
久居・地域振興課	地域インフラ維持事業（久居総合支所）	住民生活に密着した地域要望等に即答・即応するため、道路、河川及び交通安全施設等、地域インフラの維持修繕に対し、総合支所長の権限でフレキシブルに即時対応することを目的とします。	地域要望の迅速な対応	地域要望への対応であることから、数値目標の設定は困難であるため、迅速に地域要望に対応するよう努めます。			地域要望への迅速な対応	要望をいただいてから、概ね30日以内には対応策等、回答するように努め、ほとんどについて達成することができたが、現地の対応については、予算と人的なことから、すべて迅速に対応するところまではいっていません。今後、現地の迅速な対応を図るためにも事業取組体制の見直しが必要です。	3	地域からの要望について、概ね対応できているが、対象事業費規模により修繕対応できない案件については、建設部津南工事事務所との調整が必要で。	見直し	地域からの要望について即答即応するためには、専属の担当職員の配置が必要であり、人員配置等を含めた事業取組体制の見直しが必要です。	
久居・地域振興課	地域かかやきプログラム事業（久居総合支所）中部エリア	中部エリアでは、温泉や農業など中部エリアの地域資源を磨き上げ、観光資源として活用するとともに、農産物の高付加価値化による地域の活性化、さらに交流を求めている賑わいなど地域力を養うため、「みのり」と「ぬくもり」の郷づくりを目指します。 久居地域では、総合計画で「レクリエーション拠点」として位置づけられた「榊原温泉」、「青山高原」を中心とした地域の活性化に取り組むとともに、当該エリア内の新たな地域資源を掘り起こすための新規事業について検討していきます。	榊原温泉年間入込み客数	津市総合計画では、中部エリアの中でも榊原温泉を「レクリエーション拠点」と位置づけており、年間を通じた観光客誘致事業、来訪者と地域住民の交流を目的とした地域振興イベントなどにより榊原温泉利用客の増加を目指すことから、上記を成果指標とします。	400,000人	324,153人	温泉振興協会や地元団体が行ったイベントの効果及び昨年未参入であった白雲荘の入込客数を参入したため温泉入込客数が増加しました。	3	「湯の瀬フラワーガーデン整備事業」をはじめとする榊原地域での各種事業を通して、豊かな景観形成や来訪者と地域住民の交流を行うことで、温泉リフレッシュゾーンの魅力アップに寄与しました。	拡充・充実	中部エリアの将来像である「みのり」と「ぬくもり」の郷づくりを目指し、既存の事業を含め、複数の事業を組み合わせ再編するなど、多面的に考えることで更なる拡充を図るとともに、地域をまたいだエリア内での連携や情報共有の強化が必要と考えます。		
久居・地域振興課	地域かかやきプログラム事業（久居総合支所）東部エリア	東部エリアでは、市の政治、文化、経済の中心的エリアとして、「知」の情報を様々な機会を通じて発信できる拠点づくりや、市民、企業、大学等高等教育機関との連携による地域を担う人材育成と地域連携による交流のまちづくりを目指します。 久居地域では、東部エリアを構成する一地域として、上記エリア目標に沿った、東部エリア各プログラムに位置づけされる事業を実施するとともに新規事業の検討を行いながら、特に地域を担う人づくりや地域連携による交流の促進を目指します。	拠点を活かした地域づくりや地域連携による交流の推進	久居地域は東部エリアを構成する一地域として、特に拠点を活かした地域づくりや地域連携による交流の推進を目指すことから、上記を成果指標とします。			主に拠点を活かした地域づくりや地域連携による交流の推進を図ります。	3	実施した2事業については、目標値であるイベント来場者を達成できました。	3	「久居まつり事業」、「サマーフェスティンひさい事業」は、レクリエーションを通じた生きがいづくりや久居周辺での賑わい創出に寄与しました。	拡充・充実	東部エリアの将来像である「キラリと輝く人づくり・まちづくり」を目指し、既存事業は更に拡充を図るとともに、地域を担うひとづくりの促進が必要と考えます。
久居・地域振興課	地域情報発信事業（久居総合支所）	久居地域の住民を対象として、地域イベント・地域活動団体の活動紹介・地域関連の行政情報など、身近で日常的かつ地域に根ざした情報を提供するため、ひさい地域だよりの発行を行います。	地域だよりの発行部数	地域情報を提供するための手段の一つであり、「地域だよりの発行部数」を成果指標とします。	64,000部	64,000部	目的を達成できました。	4	久居地域の住民へ地域イベント情報・地域活動団体の活動情報・地域関連の行政情報を提供しました。	4	掲載内容を精査・検討することで、より充実した内容にしていきたいと考えます。		

久居総合支所

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成27年度）						事業の評価		所管課長等による評価	
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成28年度以降の事業の方向性	所見
久居・地域振興課	公有財産管理事業	「副都市核としてふさわしい賑わいある、安心・安全に暮らせるまちづくり」 ・副都市核としての賑わいの創出及び駅周辺の利便性の向上 ・災害時における、安全・安心に暮らせるまちづくりの推進	久居市民会館解体事業費の算定及び翌年度予算計上	久居駅周辺地区都市再生整備事業の個別事業として、進捗を図る。			久居市民会館解体事業費の算定及び翌年度予算計上	久居市民会館解体事業費を算定し、翌年度予算に計上しました。	4	久居市民会館解体事業費を算定し、翌年度予算に計上しました。	現状維持	久居駅周辺地区都市再生整備事業の個別事業として、進捗を図ります。
久居・地域振興課	出張所管理運営事業（久居総合支所）	高齢化率が高い地域であり、地域に密着した窓口業務を目指すとともに、地域コミュニティの拠点として、住みよい地域・環境づくりを推進します。	両出張所の窓口における取扱件数と各施設の利用件数の合計数	地域の市民サービスの窓口としての施設であるため、両出張所における窓口取扱件数と各施設の利用件数の合計数を指標とします。	5,000件	6,412件		目標値を上回ったのは、久居総合支所のポルタ移転の影響も大きいと考えられます。立体駐車場が苦手な方が出張所へ回っています。利用者の方に概ね満足をいただけたと思います。	4	目標値を達成した要因について、総合支所の移転も大きいですが、浄化槽帰属、臨時福祉給付金等の新規の申請の申請窓口として多く活用されているからだと考えられます。金融機関よりも開設時間が長いこと、税金等の収納率も高く、榊原農家研修所、久居農村婦人の家とともに車などの交通手段を持たない高齢者にとって市民生活の利便性を確保する上でなくてはならない施設です。	現状維持	今後も市民サービスの窓口として、戸籍・住民基本台帳等の交付事務、市税等の収納を行い、市民生活の利便性に供していきます。また、榊原農家研修所・久居農村婦人の家については、貸館業務を通して地域住民との交流を進めることにより、地域振興に寄与していきます。
久居・地域振興課	体育館管理運営事業（久居総合支所）	スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的とした交流の機会づくりを推進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持・管理を行います。	利用者数	市民のレクリエーションの振興及び体力増進を図り、健康で文化的な市民生活に寄与するための施設であるため、利用者数を指標とします。	50,000人	49,250人		目標値を僅かに下回りました。利用者が固定してきており、平日における昼間の使用効率を上げる必要があります。	3	津市スポーツ施設整備基本構想に基づく施設としての施設管理を行う必要があります。また、午前・夜間の利用者は多いものの、午後が少なく、利用者も固定している傾向にあるため、当該時間帯の利用者数の増を視野に対応策を検討していく必要があると考えます。	現状維持	施設の老朽化が進んでいますが、定期的な利用者があることから修繕対応を行いながら運営していきます。
久居・地域振興課	グラウンド管理運営事業（久居総合支所）	スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的とした交流の機会づくりを推進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持・管理を行います。	利用回数	市民のレクリエーションの振興及び体力増進を図り、健康で文化的な市民生活に寄与するための施設であるため、利用回数を指標とします。	300回	299回		目標値以上の実績値を得ることができ、所定の目的を達成することができました。施設管理者が常駐しておらず、目的外使用や無断使用がみられることから、適切な管理の在り方を検討していく必要があります。	3	津市スポーツ施設整備基本構想に基づく施設としての施設管理を行う必要があります。利用ニーズもあるため老朽化した施設を修繕を加えながら対応していく必要があります。	現状維持	利用ニーズもあるため老朽化した施設に修繕を加えながら対応していきます。また、隣接する弓道場跡地を駐車場として活用し、利用者の利便性を高めています。
久居・地域振興課	テニスコート管理運営事業（久居総合支所）	スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的とした交流の機会づくりを推進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持・管理を行います。	利用者数	市民のレクリエーションの振興及び体力増進を図り、健康で文化的な市民生活に寄与するための施設であるため、利用者数を指標とします。	30,000人	30,609人		わずかながら目標値以上の実績値を得ることができ、所定の目的を達成することができました。	3	施設の老朽化に対応して、平成22年度にコート整備を行ったことにより、利用者数は増加しています。	現状維持	照明等の老朽化が進んでいるうえ、維持管理が容易でない設備となっているため、照明のLED化を含め改修を検討していきます。



久居総合支所

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成27年度）					事業の評価		所管課長等による評価		
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成28年度以降の事業の方向性	所見
地域振興課	プール管理運営事業(久居総合支所)	スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的とした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持・管理を行います。	利用者数	市民のレクリエーションの振興及び体力増進を図り、健康で文化的な市民生活に寄与するための施設であるため、利用者数を指標とします。	30,000人	38,019人		施設リニューアル効果により、利用者数が大幅に増加しました。	3	施設の性質上、天候により利用者数が大きく変動します。平成26年度営業終了後、大規模改修を実施したため、平成27年度においては、積極的なPR等に努め、利用者数の増加に努める必要があります。	拡充・充実	平成26年度営業終了後、大規模改修を実施したため、平成27年度においては、積極的なPR等に努め、利用者数の増加を図っていきたく考えています。
地域振興課	その他運動施設管理運営事業(久居総合支所)	スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的とした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持・管理を行います。(ゲートボール場)	利用者数	市民のレクリエーションの振興及び体力増進を図り、健康で文化的な市民生活に寄与するための施設であるため、利用者数(算定方法を変更)を指標とします。	9,000人	7,749人		固定的な利用者や総合型地域スポーツクラブの利用を中心に件数は増加しているものの、種目の多様化等により、利用者数が減少しています。	3	固定的な利用者や総合型地域スポーツクラブの利用を中心に件数は増加しているものの、種目の多様化等により、利用者数が減少し目標値を下回りました。今後、津市スポーツ施設整備基本構想においては、公のスポーツ施設としての用途を廃止し管理方法の見直しが行われることから、これに沿った管理運営を行っていきます。	現状維持	津市スポーツ施設整備基本構想に沿った施設管理を行っていきます。
地域振興課	久居駅東口駐車場維持管理事業(久居総合支所)	久居駅及びポルタ久居等の利用者に対する利便性を高め、利用者数の増大を図ることによって駅周辺の活性化に繋げるとともに、駅周辺の駐車場需要に対応することにより、円滑な道路交通の確保及び駅周辺の交通安全を図ります。	駐車場利用台数	車での久居駅利用者に対する利便性を高めることで、駅周辺の駐車場需要に対応し、更に利用者数の増大を図ることで駅周辺の活性化に繋げることを目的とする施設であるため、駐車場を利用した延べ台数を指標とするものです。	80,000台	78,699台		平成26年度利用台数と比較して年間約1.7%の利用減、1日平均約4台の利用減となっている。消費税増による近鉄電車運賃増等消費を抑える傾向の影響から利用数が減ったものと思われる。	3	駅利用者及び駅周辺における駐車場需要に対応し、この地域の集客の促進を図りましたが、消費税増に伴い消費減の影響があったものと思われる。しかしながら、駅周辺における道路の効用保持と円滑な道路交通の確保を図ることができました。	現状維持	当駐車場は「久居駅周辺地区都市再生整備事業」による用地交換が行われるまでの間の暫定施設としての位置づけであり、久居駅東口に駐車場、駐輪場を新たに整備するにあたり、平成28年度から用地交換が行われます。当駐車場は、一定の台数を確保しながら、段階的に駐車場台数が減少する中で、利用者が当駐車場を利用できるよう適切な維持管理を行っていきたくと思います。
地域振興課	観光振興事業(久居総合支所)	日本三大名泉の一つである榊原温泉という観光資源を適切かつ有効に活用し、榊原温泉の発展に資するとともに、観光振興及び温泉利用施設の保護を目的として榊原温泉振興協会への補助金の交付を行う。	榊原温泉全体の利用客数	榊原温泉全体を対象とした事業であることから、榊原温泉全体の利用客数を指標とするものです。	400,000人	324,153人		おもてなし館を拠点とした「温泉を核とした地域づくり」や、「蛍灯」「ひな祭り」等のイベント開催し、また、県内、東海、大阪に加え、ついでを活用し東京での榊原温泉のPR等を行い、H26年に対し前年比101.4%と増加しました。利用客数：H27年324,153人(白雲荘2,122人)H26年319,390人(白雲荘集計不可につき未算入)	2	全体的には入込客数は増加しているが、宿泊数を増加させるための各旅館における継続的な努力が必要である。また、温泉事業の低迷により更なる入込客数を増加させることは厳しい状態である。泉質効能のPRの取組など新たなPRにより増加を図る必要があります。	見直し	泉質効能のPRのため榊原温泉の科学的調査及び医学的実証実験を行い、旅館組合、地元自治会、若手グループと連携を取りながら、榊原地域をあげて、観光客誘致宣伝活動事業、観光誘客促進イベント事業及び温泉を核とした地域づくり事業を中心とした榊原温泉郷の発展を目指していきます。

久居総合支所

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成27年度）					事業の評価		所管課長等による評価		
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成28年度以降の事業の方向性	所見
地域振興課	榊原自然の森温泉保養館維持管理事業（久居総合支所）	日本三名泉のひとつである榊原温泉という観光資源を適切かつ有効に活用し、湯を媒体としたコミュニティの推進とスポーツ・レクリエーション活動を通じた健康増進に取り組むことにより、市民生活の向上及び観光振興を図ります。	施設利用者数（のべ人数）	市民生活の向上と観光振興に寄与するために設置された温泉施設等であることから利用者数（延べ人数）を指標とするものです。	190,000人	178,098人		榊原温泉全体での入込客については、前年度比4,763人の増となっております。それに伴い、湯の瀬入館者についても増加となりました。	3	平成25年10月1日よりフロント、ボイラー管理及び清掃業務の民間への一部業務委託を実施したことにより、市民サービス向上と経費削減が図れたものと思われます。また、施設老朽化に伴う修繕費が増加しており対応が必要となっています。	現状維持	平成25年10月から3年6ヶ月の契約期間でフロント業務等主要な業務について、民間業者へ委託中であり、平成28年度以降もさらなる経営改善に向け、収支等の検証を行ってまいります。また、この契約期間が平成28年度に終わることから、平成29年度に向けての対応が必要となっています。
地域振興課	観光施設維持管理事業（久居総合支所）	榊原温泉への利用客誘致を図るため、榊原周辺地域の自然歩道等の維持管理業務を行います。	榊原温泉全体の利用客数	榊原地域の美しい自然環境の中の遊歩道等の観光施設を維持し、地域の誘客拡大と榊原温泉の利用者拡大を目指すため、上記の成果指標に変更します。	400,000人	324,153人		温泉振興協会や地元団体が行ったイベントの効果及び昨年未算入であった白雲荘の入込客数を参入したため温泉入込客数が増加しました。	3	温泉PR看板等の充実並びに観光資源である自然歩道（榊原、東海）の適切な維持管理を行いました。	現状維持	自然歩道を利用し易くするための環境整備を行うとともに、自然歩道の魅力や楽しみ方等の情報を発信することにより榊原温泉郷への集客に繋がりたいと思います。
福祉課	社会福祉事務所管理運営事業（久居総合支所）	久居総合支所福祉課における事務及び予算等の調整、久居地域の福祉事業の施行事務及び市単独事業の調整を行うことにより、効率的な事務執行及び円滑な事業の推進を図ります。	効率的な事務執行	事務事業の効率的な執行がコスト削減につながるため、上記の指標とするものです。				福祉課の円滑な運営ができました。	4	久居総合支所福祉課における事務及び予算等の調整、執行を適正に行い、効率的な事務執行及び円滑な事業の推進ができました。	現状維持	事務及び予算等の調整、執行を適正に行うことにより、更なる効率的な事務執行及び円滑な事業推進を図ります。
福祉課	社会福祉施設維持管理事業（久居総合支所）	津市久居総合福祉会館の維持管理運営事業 市民の福祉、文化教養及び体力の増進を図ることにより、健康で文化的な市民生活に寄与します。 ・コミュニティ活動の場を提供する事業 ・地域福祉活動及びボランティア活動事業 ・教養の向上及びレクリエーションに係る事業	施設の利用者数	施設の管理運営についての成果は、多くの市民が利用していただき施設の設置目的である健康で文化的な市民生活に寄与することにあるため、当該施設の利用者数を指標とするものです。	85,000人	87,314人		目標値に達しており、当初の目的を達成できました。今後も市民の福祉、文化教養及び体力の増進を図るため、施設の整備等の充実を行ってまいります。	4	コミュニティ活動の場としての役割を果たしており、利用者の福祉、文化教養及び体力の増進を図るための事業推進ができました。	現状維持	引き続き効率的な施設の管理運営を行うとともに、老朽化による施設等の修繕を行いながら、利用者の快適環境の整備に努め、健康で文化的な市民生活に寄与します。
生活課	会館、市民センター管理運営事業（久居総合支所）	立成コミュニティセンターについては、地域の自主的な活動を育成し、他地域との交流を図るとともに、地域のコミュニケーションの核となる施設として、様々な集会、会議等に利用することにより、文化の向上及び生涯学習の振興を図り、地域コミュニティの充実につなげていきます。	利用件数	文化の向上及び生涯学習の振興を図り、地域社会の発展に寄与する施設であるため、利用件数を指標とします。	70件	75件		各種団体の利用回数は目標値を大きく上回りました。自治会をはじめとする地域の各種団体数は前年並みであることから、コミュニティ活動としては有益であります。	4	目標値を上回っており、当該施設が立成公民館との併設であることも踏まえ、地域のコミュニケーションの核となる施設としての機能を十分に発揮していると評価できます。	現状維持	地域のコミュニケーションの核となる施設としての機能を十分に発揮しているが、収容能力により手狭に感じられることもあることから、これ以上の拡充は難しく現状維持とします。

久居総合支所

評価：4=できている 3=概ねできている 2=課題克服が必要 1=未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成27年度）						事業の評価		所管課長等による評価	
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成28年度以降の事業の方向性	所見
ポルタひさいふれあいセンター	ポルタひさいふれあいセンター管理運営事業（久居総合支所）	休日・夜間の開所をすることにより、戸籍・住民票等の交付、市公共料金の収納を行い、市民の利便性の向上を図り、住みよい街づくりに貢献します。当センターにおいて行う貸館事業は、市民の交流、情報共有の場、ふれあいの場、健康増進の場を提供することが主眼であり、このことにより地域の振興を図ることを目的とします。	窓口における取扱件数と施設の利用件数の合計数	市民サービスの窓口としての施設であるため、窓口取扱件数と施設の利用件数の合計数を利用者の満足度(利便性)の指標とします。	30,000件	33,582件		目標値を超えることができ、当初の目的を達成できました。来庁者、利用者の方に概ね満足をいただけたと思います。	4	平成27年1月、久居庁舎がポルタひさいへ移転したことに伴い、収納業務を除く窓口業務は減少したものの、休日・夜間の市民サービスの窓口として、戸籍・住民基本台帳等の交付事務、市税等の収納を行い、市民生活の利便性に供しています。また、貸館業務を通して、地域住民の交流と親睦に寄与しています。	現状維持	休日・夜間の各種証明書の交付、住民異動届の受付等窓口業務は、今後増加することが予想されることから、業務の効率化、職員の資質向上に努めるとともに、市民サービスの窓口及び貸館業務を通して、市民生活の利便性の向上や地域住民の交流・親睦に寄与します。